

【大学間協定留学】留学報告書

記入日	2023年5月10日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本(学部/学科/研究科/専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年5月3日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	カナダ
留学先大学	ヨーク大学 (日本語名) York University (現地言語名)
現地使用言語/授業使用言語	英語/英語
留学期間	2022年9月～2023年4月
留学先大学で在籍した学年	特になし年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):リベラルアーツ (現地言語での名称):Faculty of Liberal Arts & Professional Studies (LA & PS) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:9月上旬～12月下旬 2学期:1月上旬～4月下旬 3学期: ～ 4学期: ～
学生数	55700人
創立年	1960年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$CAD/カナダドル)	日本円	備考
授業料	なし	なし 円	交換留学だったため、現地の大学の授業料は払っていない。
宿舍費	\$9000 CAD	900000 円	
食費	\$5000 CAD	50000 円	
図書費	\$50 CAD	5000 円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	\$245 CAD	24500 円	
現地交通費	\$200 CAD	20000 円	キャンパス間のシャトルバスは無料(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$100 CAD	10000 円	
被服費	\$500 CAD	50000 円	
医療費	\$200 CAD	20000 円	
保険費	\$504 CAD	50400 円	形態:ヨーク大学の保険に加入した
渡航旅費	\$1500 CAD	150000 円	
ビザ申請費	\$160 CAD	16000 円	
雑費	\$140 CAD	14000 円	寝具や冷蔵庫代
その他		円	
その他		円	
合計		円	

渡航関連			
渡航経路			
往路 出発地:	成田空港	目的地:	ピアソン空港 経由地:
復路 出発地:	ピアソン空港	目的地:	羽田空港 経由地:
渡航費用			
①	往復チケットを購入した場合		
	航空会社:エアカナダ		
	料金:253,360 円		
②	片道ずつチケットを購入した場合		
	往路 航空会社:	料金:	
	復路 航空会社:	料金:	∴合計:
航空券購入方法			
<input checked="" type="checkbox"/>	旅行代理店(店名:STAtavel)		
<input type="checkbox"/>	インターネット(サイト名:)		
<input type="checkbox"/>	その他()		

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: Wood Residence) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

ヨーク大学から送られてきたメールから登録した。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私が滞した寮は Glendon Campus という、授業を受けていた Keele Campus からシャトルバスで 45 分ほどの場所にありました。なので通うのには時間がかかりましたが、Keele に比べてとても治安が良かったです。ただ、私はミールプランを使い、キッチンを使わないプランに登録したのですが、Glendon のカフェテリアの食事が本当にひどかったのも、もし Glendon に住むことになった人にはキッチンを使用するプランに登録することをお勧めします。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所: キャンパス内の病院)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

実際に犯罪に巻き込まれたことはありませんでしたが、常に貴重品は持ち歩いたり、引ったくれやすい肩にかけるような鞆は使わない様にしていました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

朝は Wi-Fi が繋がりにくかったので、毎朝繋ぎ直していました。それ以外は大学のキャンパス内ならどこでも繋がりました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを 2 枚持って行きました。一つは自分の通帳に、もう一つは親の通帳に紐づけて万が一の場合に備えていました。実際、映画館のチケット販売機と自分の通帳のカードの相性があまり良くなく、もう一つのカードを使うことになったので二種類以上持っていった方が良かったです。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

常備薬

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 交換留学生は美術の授業を履修できない	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Canadian Language and Culture	カナダの言語と文化
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Linguistics
履修期間	Fall/Winter
単位数	6.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル形式、講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Olga Makinina
授業内容	秋学期はカナダの先住民の歴史について、冬学期はカナダの多文化主義について学びました。ディスカッションやペアワークが多く、発言もかなり求められました。また、英語を第一言語としていない生徒向けの授業だったので、レポートの書き方を通年で学びました。
試験・課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・通年だったため、秋学期に中間試験 1 回、冬学期に期末試験 1 回 ・大きなレポートは各学期 1 回ずつだが、授業で先生の解説を聞き、段階的にその学期中に仕上げていった ・秋学期にグループプレゼンテーション 1 回、冬学期に個人プレゼンテーション一回 ・毎回、ビデオを見たり論文を読んだりする課題があった。これをしっかり終わらせた前提で授業が進み、意見が求められる。 ・成績の内訳は、試験よりも日ごろの出席点や課題の提出状況の割合が高い。
感想を自由記入	現地でカナダの先住民問題や移民問題などについて学ぶことができたのはとても良い経験になりました。特に、実際にさまざまな背景を持つ人とこれらの問題について話し合うことによって他面的に理解することができました。また、発言やディスカッションが活発に行うことを求められるクラスなので、自分の意見をきちんと持ち、それを発信していく力が身につきました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Contemporary Japanese Culture and Society		現代の日本の文化と社会	
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Linguistics		
履修期間	Fall/Winter		
単位数	6.00		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Cary S. Takagaki		
授業内容	日本の文化や社会を歴史、信仰、伝統文化などの観点から学んだ。		
試験・課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト(ほぼ毎週) ・小レポート 2 回、期末レポート 1 回 ・プレゼンテーション 1 回 ・期末試験、出席確認なし 		
感想を自由記入	日本の文化を海外から学ぶという意見は非常に面白かったです。普段日本にいるときは当たり前だと思っていたことが、海外の人にとっては不思議な文化であると知ったことが何回もありました。日本のことを俯瞰して見つめ直すことにより、良さも悪さも学ぶことができました。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Japanese Popular Culture: Manga and Anime		日本の人気文化: 漫画とアニメ	
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Linguistics		
履修期間	Fall		
単位数	3.00		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Cary S. Takagaki		
授業内容	日本だけではなく海外でも人気がある漫画とアニメを歴史的、商業的に学ぶ。		
試験・課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回リーディング課題が出る ・プレゼンテーション 1 回 ・小レポート 2 回 ・期末レポート 1 回 ・毎回出席をとる ・試験なし 		
感想を自由記入	国際日本学部で漫画やアニメの授業を履修していたため、それらに対して海外ではどのような反応があるのかを知りたいと思い、履修することに決めました。日本の漫画やアニメは「無国籍である」こと、「かわいい文化」が含まれていることなどを学びました。プレゼンテーションや最終レポートで自分が興味がある作品を深掘りできるのが非常に楽しかったので、満足しています。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Japanese Popular Culture: Beyond Manga and Anime		日本の人気な文化: 漫画とアニメの先	
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Linguistics		
履修期間	Winter		
単位数	3.00		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Cary S. Takagaki		
授業内容	日本のかawaii文化、コスプレ、オタク文化、ストリートファッションなどを学ぶ。		
試験・課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回リーディング課題が出る ・プレゼンテーション1回 ・小レポート2回 ・期末レポート1回 ・毎回出席をとる ・試験なし 		
感想を自由記入	日本のサブカルチャーを中心に学びました。2回目以降の授業では、学生が順番に自分が興味を持った日本のサブカルチャーについてのプレゼンテーションをしました。どのような文化が海外に好まれるのかを知ることができ、海外の人と交流したり何か事業を立ち上げたりする際に役に立つと思いました。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
マイナビ、リクナビ
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
日本の企業に応募する際は、時差に気をつけてください。説明会の時間や提出書類の期限が日本時間で表記されていることがほとんどです。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL の勉強、受験
	10月～12月	交換留学の選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	ビザの取得、寮や履修登録
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

ヨーク大学を選んだ理由は、カナダの多様性を学びたいと思ったからです。人種のモザイクと言われるカナダでは、さまざまな背景を持つ人々がそれぞれの文化を大切に生きています。多様な人種の学生がいる授業ではもちろん、街に出てみると、人々がどのように共存しているのかを肌で感じることができました。また、色々なルーツをもつ友人たちと交流したことにより、互いの文化を理解しながら違いを認め合うことの大切さを改めて学ぶことができました。仲良くなった友人たちは一生の宝物です。

留学はもちろん大変なこともありますが、本当に楽しかったので、たくさんの人にぜひ挑戦してほしいです。今自分がいるところを飛び足してみると、想像を遥かにこえた世界が待っています。外国の知らない街でうまくやっていけるのだろうかという不安がある人もいますし、私自身も憧れと同時にそのようなことを考えていました。しかし、実際に行ってみると自分で試行錯誤しながら大抵のことはどうにかなりますし、それを乗り越えたときに本当に大きな自信になります。なので、もし不安があったとしてもまずは挑戦してみることをお勧めします。それに、何かあっても周りの人たちが助けてくれます。TOEFL のスコア取得や書類審査、面接などの選考など、留学までに乗り越えなくてはならないものはたくさんありますが、強い気持ちをもっていれば突破することができます。なので、自分に自信をもってぜひ挑戦してみてください！